

「八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業進捗状況

※各プロジェクト・施策の基本目標・KPI及び事業パッケージ(どのような事業展開となっているか)を経年で示しています。

※基本目標・KPIの「達成状況」については下表を参照してください。

「達成状況」(目標値の達成状況)	達 成		◎
	未達成	計画当初値(H30)より前進もしくは同値の場合	○
		計画当初値(H30)から後退している場合	△
		その他(数値なし)	—

1 子どもが輝く未来の創生 「やわた子ども未来プロジェクト」

<総括>

(1) 次代を生きる力の育成

①就学前教育・保育の充実

みどりの園庭づくり事業において、橋本幼稚園の園庭を芝生化したほか、公立保育園等ではトイレ改修や防犯カメラの設置など、安心・安全な保育環境を整備した。

幼小連携については、小学校への円滑な接続のため、引き続きアプローチカリキュラム(5歳児用)の実践に努めた。また、コロナ禍で実施できていなかった各校における園児と児童との交流の取組、体験入学などを可能な範囲で再開することができた。

②学校教育の充実

GIGAスクール構想では、引き続き、ICT支援員を配置し、授業改善を図りながら積極的な端末の利活用を進め、子どもの学力向上に取り組んだ。また、各中学校区に設置している学校支援地域本部では、環境整備活動や登下校の安全指導などに加え、絆フェスタやお茶会体験など各校区の特色を生かした活動を実施することができた。

みどりの校庭事業では、橋本小学校校庭の芝生化を実施し、子どもの体力向上や遊びの多様化を図った。また、南山小学校のトイレを洋式化、くすのき小学校・さくら小学校屋内運動場の空調等設備整備などを実施することで、安心・安全な教育環境の整備を実施した。

③配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

各小中学校に特別教育支援員を配置し、教育上の特別支援を必要とする障がいのある児童・生徒を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練や生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進などの療育を行った。

また、スタディサポート事業(鳩嶺教室)では、学習意欲は高いが経済的理由により塾等に行けない小学校4年生以上および中学生に対し、学習に集中できる場と教育内容を民間教育機関の活用により提供するとともに、小学生対象事業では、新たに英語を指導教科に加え、事業の充実を図った。

「不登校児童生徒出現率」は、全国と同様に本市でも増加傾向が見られる。今後も教育支援センターの支援体制強化やICTの活用による教育支援教室の活動の推進を図りながら、将来の社会的自立に向け、個別のケースを適切に見立て、1人ひとりに応じた支援を行っていく。

④地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

児童生徒の英語能力の向上では、中学生の英語検定受験料負担や小中学校への外国人指導助手の派遣を実施し、子どもの国際交流の足掛かりとした。八幡市・八幡浜市中学生交流事業では、感染症への対応から例年よりも人数を減らしての実施であったが、両市の中学生同士が打ち解け合い親睦を深めるとともに、本市の生徒たちは郷土の素晴らしさを再認識することができた。

(2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

やわた放課後学習クラブでは、市内全小学校5・6年生を基本に、夏休み期間に特別講座を実施することで小学3年生及び、一部小学校4年生への放課後の居場所及び学習の場の提供を開始した。しかしながら、児童を受け入れるための教室や指導者確保の課題があり、放課後子ども総合プランで示されている「全ての児童」が放課後を安全・安心に過ごせる場の提供には至っておらず、引き続き検討を進めていく。

子どもわくわく教室では、令和3年度に実施した7教室(サッカー、バスケットボール、陸上、バトントワリング、ソフトテニス、華道、茶道)に加え、令和3年度に男山レクリエーションセンターに設置したスケートボードパークを活用し、新たにスケートボード教室を開設した。

小学校児童を対象とした農業体験では、八幡農業ボランティアの会の協力のもと、収穫体験を行い、児童の好奇心や探求心の育成に貢献できた。

② 夢に触れる機会の創出

児童生徒が「夢」に触れる機会の創出に向け、日本サッカー協会への委託による「夢の教室」をオンラインで希望校において実施。「夢先生」の自らの体験を基にした話を通じて、「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力する大切さ」を伝え、将来への夢と希望を持って力強く生きようとする意欲や態度を育んだ。

(3) 結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

①結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

産後ケア事業においては短期入所型事業の利用施設を拡大し、より利用しやすい環境整備を行った。

子育て支援センターの利用実績は、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う施設の利用制限を継続的に実施したため、令和3年度と同程度に留まったが、さくら近隣公園で子育てイベントを開催し、子育て世帯を含む多世代が交流できる機会を創出できた。

ファミリーサポートセンター事業の利用状況としては、登録会員数は令和3年度から減少したが、アドバイザーが会員間の調整を図ることで、援助活動は円滑に進められており、利用件数は増加している。援助を行うサポート会員の高齢化により新規会員の確保が課題となっていることから、子育てが落ち着いた利用会員の中からサポート会員としても活動してもらえようアプローチするなど、相互援助活動の継続に向けた取り組みを行っていく必要がある。

市民の約3割が居住する男山地域においては、地域子育て支援施設「おひさまテラス」への助成を引き続き実施した。

公立就学前施設の再編については、令和3年度に策定した基本方針に基づき、職員や保護者と意見交換等を行いながら、検討を進めた。

②子ども・妊産婦の保健体制の充実

こんにちは赤ちゃん訪問事業や各種健康診査を例年通り実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問率、受診率は令和3年度同様に低い結果であった。

また、新たに妊娠8ヵ月頃の妊婦を対象に妊娠から出産・子育て期まで身近に相談に応じる「伴走型相談支援」の一環として、妊婦さんの体調等についてのアンケートを実施し、希望者には個別相談を行った。

③安心して子育てできる相談・医療体制の充実

様々な事情を抱える家庭が安心して子育てできるよう、児童発達支援センター中心に、療育支援を行う場及び家族の相談の場を設け、今後も継続していくほか、児童・保護者の健康保持及び子育て家庭の経済的な負担軽減を図るべく、医療給付を実施した。

④働く大人の子育てサポート

延長保育事業や一時預かり事業、病児保育事業を継続的に実施し、多様化する保育ニーズに対応することで、働く保護者等への子育てサポートを図ったほか、令和3年3月に策定した「男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ」に基づき、男女がともに仕事と家事・育児・介護等の家庭生活のバランスを図れるよう、周知、啓発に努めていく。

放課後児童健全育成事業では、入所児童数の増加に対応するため、橋本小学校に保育室を整備するとともに、美濃山小学校内施設においては、照明のLED化や床面の補修を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き継続し放課後に子どもが安心して過ごせるよう環境整備を行った。

<基本目標の達成状況>

基本目標		計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
将来への夢や目標を持つ子どもの割合	小学生(6年生)	79.9%(R1)	76.5%	74.1%	90%	△
	中学生(3年生)	66.2%(R1)	62.3%	58.5%	80%	△
子育てが楽しいと思う保護者の割合		53.8%	R5取得予定	R5取得予定	70%(R5)	—
子育て世代の転出入者		▲146人	▲7人	47人	0人以上	◎

＜各施策の具体的事業の進捗状況＞
 : デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用した
 : 上記以外の事業

(1)次代を生きる力の育成

(KPIの達成状況)

KPI		計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生)	国語	94.0(R1)	97.4	97.6	100	○
	算数	96.1(R1)	94.0	96.5	100	○
全国学力・学習状況調査結果(中学校3年生)	国語	89.3(R1)	94.4	91.3	100	○
	数学	85.3(R1)	90.9	83.7	100	△
市内不登校児童生徒出現率	小学生	1.00%	1.12%	1.61%	0.7%	△
	中学生	5.80%	6.54%	7.06%	3.7%	△

(事業進捗状況)

①就学前教育・保育の充実

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策②就学前教育・保育の充実		
プロジェクト1.就学前教育・保育の充実		
		42～43 

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額	
○ みどりの園庭づくり事業	⇒ 継続実施(拡大)	【再掲】
子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォーカブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を実施 橋本幼稚園園庭の芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 962千円	みその保育園の敷地を一部芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 1,000千円(88千円)	

②学校教育の充実

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」			
第2節 協働による地域づくり			
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進			
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり	25		ページ
第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」			
第2節 子どもの生きる力の育成			
施策①学校教育			
プロジェクト1.学校教育の充実	45～47		ページ
プロジェクト2.学校教育環境の整備	48～49		ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

③配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備	50～51	

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ スタディサポート事業(鳩嶺教室)	⇒ 継続実施
経済的に困難な家庭の小学4年生以上及び中学生を対象に民間教育機関による学習機会を提供 受講 小学生54人 中学生145人 小学生分:13,727千円(6,863千円)	小学生分:24,308千円(10,300千円)

④地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」			
第1節 シビックプライドの醸成			
施策①文化芸術活動の振興			
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充	89		ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進	90		ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用	91～93	ページ	

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

(2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

(KPIの達成状況)

KPI		計画当初値 (H30)	R3実績	R4実績	目標値 (R6)	達成状況
新・放課後子ども総合プラン実施箇所数	一体型	—	0か所	0か所	4か所	○
	連携型	—	0か所	0か所	4か所	○
子どもわくわく教室開催数		7教室	7教室	8教室	9教室	○

(事業進捗状況)

① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策②児童・青少年の健全育成		
プロジェクト1.放課後における児童の健全育成	52	
プロジェクト2.青少年の健全育成	53～54	ページ
第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト1.お茶に親しむ機会の創出	94	

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績	令和5年度取組内容
実績・事業費※()内は交付金充当額	実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 子どもわくわくスポーツ教室	⇒ 継続実施
スポーツを通して、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育む 6教室実施(サッカー、陸上、ソフトテニス、バスケットボール、バトントワリング、スケートボード) 86回開催 参加者1,480人 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 1,036千円	761千円(380千円)
○ 子どもわくわく文化教室	⇒ 継続実施(拡大)
伝統文化を通して、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育む 2教室実施(茶道、華道) 10回開催 参加者169人 310千円	将棋教室新設 450千円(225千円)

②夢にふれる機会の創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト1.学校教育の充実		
		45～47

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

(3)結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
保育園待機児童者数	0人	0人	0人	0人	◎
認定こども園の数	5か所	5か所	5か所	7か所	○
3歳児健康診査受診率	94.2%	79.7%	76.6%	95.0%	△
こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率	92.6%	72.2%	76.2%	95.0%	△
ファミリーサポートセンター登録会員数	411人	417人	410人	435人	△

(事業進捗状況)

①結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト1.妊娠・出産・子育て環境の整備と充実	35～36	ページ
施策②就学前教育・保育の充実		
プロジェクト1.就学前教育・保育の充実	42～43	ページ
プロジェクト2.公立就学前施設の再編	44	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 子育て支援事業助成 男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成 「おひさまテラス」 利用児童 891人 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 1,546千円	⇒ 継続実施 1,547千円(605千円)
○ 子育て支援センター運営 (子育てイベント実施) 子育て中の親子の交流等を目的に子育てイベントを実施 イベント参加者573人 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 251千円	⇒ 継続実施 1,000千円(450千円)

②子ども・妊産婦の保健体制の充実

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト2.子ども・妊産婦の保健体制の充実		
		37～38 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

③安心して子育てできる相談・医療体制の充実

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」			
第1節 共に生きる社会			
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進			
プロジェクト1.相談・保健・医療体制の充実	13～15		ページ
プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実	16～17		ページ
第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」			
第1節 子育て支援			
施策①妊娠・出産・育児サポート			
プロジェクト3.相談・支援体制の充実	39～40		ページ
プロジェクト4.ひとり親家庭支援の充実	41		ページ
第2節 子どもの生きる力の育成			
施策①学校教育			
プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備	50～51		ページ
第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」			
第2節 医療・介護の連携			
施策①医療基盤の充実			
プロジェクト1.地域医療・救急医療体制の確保	73		ページ
プロジェクト3.医療費助成制度の適正運用	76		ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 京都府立八幡支援学校放課後等健全育成事業助成 京都府立八幡支援学校において、放課後及び長期休暇期間に障がいのある子どもの活動の場を提供する社会福祉法人に対し助成 利用122人 3,600千円	⇒ 継続実施 3,600千円(200千円)

④働く大人の子育てサポート

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策②男女共同参画の推進		
プロジェクト3.ワーク・ライフ・バランスの確保	12	
第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策②児童・青少年の健全育成		
プロジェクト1.放課後における児童の健全育成	52	

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

2 健幸都市の創生 「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

<総括>

(1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

①「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

住民の健幸(健康で幸せ)に重きを置き、心身の健康づくりだけでなく、周辺環境の整備や地域コミュニティの醸成など、様々な角度から「健幸」づくりを考え、まちづくりを行うSWC(スマートウェルネスシティ)に取り組んでいる。その推進のため、SWC-AIを活用し、施策の効果や、小学校区単位での医療費・疾病、罹患状況等の推移を確認し、今後アプローチが必要な地域や疾患について分析を行った。また、その背景に存在する因子についても分析を行い、有効なアプローチ方法についても検証を行った。

②健幸プロモーションの推進

地域コミュニティの中で「ロコミ」により健康無関心層にアプローチする健幸アンバサダーは、例年実施する新規養成講座に加えて、すでに活動されている方の活動支援を目的にフォローアップ講座を開催した。また、令和5年度は、児童が高齢者等にスポーツ・健康づくりの重要性を伝える「キッズ健幸アンバサダー」を養成する児童を対象としたキッズ健幸アンバサダーの取組を実施し、さまざまな世代の健康意識の向上を目指す。しかし、年々、新規健幸アンバサダーの人材確保が難しくなっており、市内の団体等へ積極的に働きかけを行う必要がある。また、アンバサダーの活動を支援する仕組みが求められており、フォローアップ講座の開催を含めて対策を行う必要がある。

(2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

①地域で行う健康づくり体制の充実

談話・談笑を通じて人と人がつながり、新たな発見や活動に出会う場を創出する『わたしたちの談話』プロジェクトにおいて、第五区の自治会や福祉委員会等の地域活動団体と京都八幡高校ボランティア部との協働による、地域の公園を活用したウォークラリーイベントが開催され、高齢者をはじめ、多世代が交流するきっかけづくりが図られた。また、主に自治会単位で開催し、地域住民や団体等で地域の課題解決に向け考える「まちの談話」の取組をまとめた事例集を自治連合会、民生児童委員協議会等に配布配布したほか、スーパーセンターイズミヤの催事場において『わたしたちの談話』プロジェクトの活動写真等を掲示するパネル展を開催するなど、地域活動の情報発信を行った。

②健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

健幸コミュニティ推進事業では、生活総合機能改善機器を活用し、歌・音楽・映像で楽しみながら、運動・口腔・認知機能の維持向上を図る体操教室を実施した。

「元気アップ介護予防事業」や「ご近所筋トレ」等の事業を通じて、住民主体の通いの場づくりを支援し、高齢者がその場で健康に資する活動ができるように取り組んでいるが、この輪を更に広げていくことが必要である。

③生涯活躍のまちの推進

高齢者の就労機会提供等による生きがいづくりを目的としたシルバー人材センターへの運営費助成を引き続き行った。

また、高齢者の憩いと交流を目的とした八寿園及び老人の家運営を行い、高齢者の生きがいづくりに努めた。

④地域包括ケアシステムの推進

地域包括支援センターにおいて、高齢者の総合相談窓口の運営や地域ケア会議の開催等の取組を引き続き実施した。

(3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

①健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

ウォーキングを中心とした運動習慣の定着に向けて実施している「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」では、令和4年度末までに4,000名弱の参加があり、歩数の増加や運動習慣の定着といった効果が確認できている。また、医療費や介護給付費の抑制、介護認定率の低下などの効果も確認できている状況で、事業計画最終年度の令和5年度に改めて、事業効果を整理して発表することとしている。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響調査において、体調や生活習慣に大きな影響があるとされた40歳・50歳代を対象に、ご自身のライフスタイルに合わせた運動習慣の定着等を目的とした「やわたミドルクラブ」を新たに実施した。

また、市民がスポーツに親しむ機会の提供及び市民相互の交流を促進するイベントとして、令和3年度に引き続き「やわたスポーツカーニバル」を実施した。令和5年度も継続実施し、世界陸上アテネ大会の女子マラソン団体戦で金メダル獲得に貢献された比護信子さんをお招きし、陸上教室を実施する等、スポーツに接する機会を提供した。

②歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

市民ふれあいウォーキング、ノルディックウォーキング教室を継続的に実施し、市民に運動するきっかけづくりの場を提供することができた。今後は、参加者のニーズを汲み取り、より魅力的なコース選定等を行っていく。

道路舗装の維持補修や防護柵の整備、歩道の段差緩和など市内道路のバリアフリー化や放置自転車等の対策を進め、誰もが安心して利用できる道路環境整備に努めた。

公立就学前施設では、ウォーカブルシティへの先駆けとなるよう、昨年度に引き続き、園庭の芝生化に取り組んだ。

<基本目標の達成状況>

基本目標		計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
健幸クラウドシステム	からだの状況とライフスタイル	1.5/5.0	1.0/5.0	2.5/5.0	3.5/5.0	○
	ソーシャルアクティビティ	1.5/5.0	1.5/5.0	3.0/5.0	3.5/5.0	○
	スマートウェルネスシティインフラ	2.0/5.0	3.5/5.0	4.0/5.0	4.0/5.0	◎

＜各施策の具体的事業の進捗状況＞

： デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用した

： その他、市で取り組んだ主な事業

(1)スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値 (H30)	R3実績	R4実績	目標値 (R6)	達成状況
定期的に運動をしている市民の割合	58.9% (H28)	58.7%	58.7% (R3) (R9取得予定)	67.5% (R3)	△
健康づくりイベント参加者数	2,500人	400人	490人	4,000人	△

(事業進捗状況)

①「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進	59～61	ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり	67	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業】

令和4年度実績	令和5年度取組内容
実績・事業費※()内は交付金充当額	実績・事業費※()内は交付金申請額
○ スマートウェルネスシティ推進 (SWC-AI運用)	⇒ 継続運用
国民健康保険等のデータを一元化し 健康課題を分析、施策立案を実施 R3データ分析 6,380千円 (3,190千円)	R4データ分析 6,380千円 (3,190千円)

②健幸プロモーションの推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	
第1節 健康で幸せのまちづくり	
施策①健康づくり習慣の定着促進	
プロジェクト1.健康意識の向上促進	59～61 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進	62～63 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり	
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり	67 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ スマートウェルネスシティ推進 (健幸マルシェ開催) 健幸クラウドの分析結果に基づく健康 づくり啓発イベントの開催 2回開催 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 7千円	⇒ 継続開催 50千円(25千円)
○ やわたヘルスプロモーション推進 情報を伝える人(健幸アンバサダー) を養成し、健康情報の提供を実施 健幸アンバサダー養成23名 累計536名 405千円(137千円)	⇒ 継続実施(充実) 児童が高齢者等にスポーツ・健康づ くりの重要性を伝える「キッズ健幸アン バサダー」を養成する。 (国)地域スポーツ振興費補助金を併せて活用 6,510千円(247千円)
○ スマートウェルネスシティ推進 (ウォーキング推進事業) 疾病予防に効果があるウォーキング 習慣のきっかけづくりを行うイベントを 実施 イベント開催 2回、マップ配布 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 28千円	⇒ 継続実施 83千円(25千円)

(2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

(KPIの達成状況)

KPI		計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室	実施箇所数	5か所	7か所	7か所	20か所	○
	参加者数	106人	137人	136人	500人	○
平均寿命と健康寿命の差	男性	1.80歳	2.22歳	1.98歳	計画当初値より縮小	△
	女性	4.09歳	3.79歳	4.00歳	計画当初値より縮小	◎

(事業進捗状況)

①地域で行う健康づくり体制の充実

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実		20 ページ
第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト1.地域で支える介護予防の推進		65～66 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

②健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		59～61 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		62～63 ページ
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進		64 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

③生涯活躍のまちの推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト3.社会的活動への参加促進		68 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

④地域包括ケアシステムの推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第2節 医療・介護の連携		
施策②地域包括ケアシステムの推進		
プロジェクト1.地域包括ケアシステムの構築		
		79～80 

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

(3)誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
ウォーキングマップの認知率	25.7%(H28)	27.0%	27.0%(R3) (R9取得予定)	40%(R3)	○
市民スポーツ公園利用者数	157,561人	96,707人	128,271人	163,200人	△
運動公園利用者数	17,560人	15,434人	19,921人	19,160人	◎

(事業進捗状況)

①健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	
第1節 健康で幸せのまちづくり	
施策①健康づくり習慣の定着促進	
プロジェクト1.健康意識の向上促進	59～61 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進	62～63 ページ
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進	64 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり	
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり	67 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ やわた未来いきいき健幸プロジェクト ⇒ 継続実施	
健康意識向上に向け、歩数や検診受診等に応じ景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業等を実施 参加者 3,930人 やわたミドルクラブ参加者 101人 46,265千円(17,846千円)	55,400千円(21,296千円)
○ 体育振興費 (やわたスポーツカーニバル開催)	⇒ 継続実施
スポーツの普及・振興に向け、市民にスポーツに親しむ機会を提供し、市民相互の交流を促進するイベントを開催 来場者 1,152人 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 1,976千円	2,000千円(900千円)

②歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	
第1節 健康で幸せのまちづくり	
施策③健幸につながるまちの基盤づくり	
プロジェクト1.歩きやすい、歩いて楽しい道づくり	69～70 ページ
プロジェクト2.出かけたくなる都市環境の整備	71～72 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額	
○ みどりの園庭づくり事業	⇒ 継続実施(拡大)	
子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォーカブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を実施 橋本幼稚園園庭の芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 962千円	みその保育園の敷地を一部芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 1,000千円(88千円)	
	○ 市民スポーツ施設・都市公園等管理 〔【新規】市民スポーツ公園一部芝生化〕	
	子育て世帯の憩いの場や健康づくり、交流等の場となるようグラウンドの一部芝生化を実施。 1,100千円(550千円)	
○ スマートウェルネスシティ推進 (ウォーキング推進事業)	⇒ 継続実施	【再掲】
疾病予防に効果があるウォーキング習慣のきっかけづくりを行うイベントを実施 イベント開催 2回、マップ配布 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 28千円	 83千円(25千円)	

3 観幸のまちの創生「訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト」

<総括>

(1)おもてなしの心の醸成

①歴史・文化芸術に触れる機会の創出

日本三大随筆とされる徒然草第52段に因み、AI時代の日本語を考えることに貢献するとともに、「文化芸術都市・八幡市」の推進及び発信を目的として第七回目の「徒然草エッセイ大賞」を実施した。国内、世界各地からの応募があり、本市が誇る歴史・文化の魅力を広く発信することができた。

また、八幡市民文化祭では、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた屋外の模擬店の出店を再開し、活気ある文化祭とすることができた。

さらに、文化財の調査や市内遺跡の発掘を通じて地域の歴史や特徴を把握し、後世に伝えるための基盤を作るとともに、市民のまちへの愛着と誇りの高揚を図るため、八角堂内の見学や文化財の期間限定公開など、市内文化財のさらなる活用を進めることで、市民及び来訪者が地域の歴史・文化に触れる機会の拡充に努めた。

②お茶のある幸せの風景の創出

松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施し、八幡のてん茶や茶文化の魅力を伝えるとともに、お茶を通じた交流促進によるおもてなしの心の醸成に取り組んだ。

また、空中茶室「閑雲軒」を体験できるVRコンテンツを配布し、八幡の茶文化の発信やお茶に親しむ機会の創出を行った。京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業では、渋谷キャストにて開催した宇治茶等の和文化発信や特産品のPRを行うお茶の京都大茶会、渋谷区の子どもたちを山城地域に受け入れ、歴史文化を体験できる子ども交流事業を通じ、山城地域の魅力発信を行った。さらに令和5年度の市民文化祭では、市庁舎のテラスを活用した茶席を実施する等、開放的な空間でお茶を楽しむ「閑雲軒」の疑似体験をしていただける取組を実施した。

なお、小学生を対象に、お茶に親しむ機会や八幡の茶文化を学ぶ機会を提供するお茶学習について、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となった。

(2) 幸せと出逢う観光まちづくり

①「観幸のまち やわた」のブランド構築

やわたブランド創造事業では、「ヤワタカラ」第2回、第3回認定を行い、14品目を新たに認定し、イベント等でPRを行った。また、八幡の歴史や地域資源を見直し、魅力の掘り起こしと発信のため、鎌倉時代歴史文化再発見事業としてNHK大河ドラマと連携したフォーラムを開催するとともに、観光名所等を紹介する4カ国語対応のPR動画を作成した。

SNSの活用については、季節ごとにInstagramを活用したフォトキャンペーンを企画し、市民参加形式で地域資源の魅力を発信する取り組みを継続。また情報の拡散性が高いSNSの利点を生かして、LINE、X、Youtubeの公式アカウントを運営し、市内外に向けた情報発信に取り組んだ。

②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

文化財や街並みの活用を通じて、その保全と魅力向上を持続的に図り、地域経済の好循環につなげるため、「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を策定した。

名勝松花堂及び書院庭園をはじめとする市内文化財の保存・整備と更なる活用を進めたほか、外国人観光客を含めた観光客の利便性向上を図るため、ガイド養成講座や公衆無線LANの整備を行った。男山散策路については、散策路周辺の危険木の除去を行うなど、安全に男山を散策できるよう維持管理に取り組んだ。

コミュニティバスやわたは、観光客の移動手段の一つとして松花堂や流れ橋等の観光施設を結んでおり、コロナ禍に伴って減少した利用客数が回復してきている。今後はインバウンドの回復も見据え、他の公共交通機関も併せて利用促進策を講じていく必要がある。令和3年度に策定した八幡市地域公共交通計画に基づき、観光客が移動しやすい環境づくりの構築を図る。

③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

観光協会と連携し、秋の文化財一斉公開において観光地点等を結ぶ周遊バスの運行や、他地域、民間事業者との企画・連携による宇治川Eボート川下り&体験イベント、デジタルスタンプラリー等周遊ルートづくり事業を実施した。

京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業では、渋谷キャストにて開催した宇治茶等の和文文化発信や特産品のPRを行うお茶の京都大茶会、渋谷区の子どもたちを山城地域に受け入れ、歴史文化を体験できる子ども交流事業を実施した。

さらに、宇治川・桂川改修促進期成同盟会等を通じ、三川合流域における新型コロナウイルス感染症に配慮した新しい様式の賑わいの創出や「さくらであい館」の利活用に関し、国に要望活動を行った。

<基本目標の達成状況>

基本目標	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
年間観光入込客数	219万人	168万人	189万人	285万人	△
年間観光消費額	6.27億円	4.77億円	5.37億円	8.5億円	△
観光情報ハウスへの外国人来訪者数	1,020人	28人	323人	1,800人	△

＜各施策の具体的事業の進捗状況＞

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用した事業

上記以外の事業

(1)おもてなしの心の醸成

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
ボランティアガイド人数	77人	74人	73人	106人	△
市民文化祭参加者数	3,000人	中止	3,000人	3,000人	◎
お茶学習参加者数	34人	中止	中止	80人	—

(事業進捗状況)

①歴史・文化芸術に触れる機会の創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		89 ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進		90 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		91～93 ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト3.歴史景観の保全		100 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 徒然草エッセイ大賞	⇒ 継続実施
徒然草の52段に因み、優れたエッセイを全国に募り、本市の文化芸術に接し、交流する機会を創出 応募点数 2,698点 11,200千円(4,225千円)	12,000千円(4,200千円)
○ 文化振興事業 (市民文化祭開催)	⇒ 継続実施
市民サークル等が中心となり、絵画、書道、竹細工の展示や太鼓、舞踊等舞台発表の場を整備することにより、市民に多様な文化に触れる機会を創出 舞台発表者等 911人 舞台発表 42団体、作品展示 343点 7,000千円	市役所市民プラザにて市民大茶会を実施 5,200千円(2,373千円)
○ 文化振興事業 (音の祭典 in YAWATA開催)	⇒ 継続実施
市内小中学生、市民団体、合唱団、吹奏楽団等による市民参加型の音楽祭を開催し、音楽を通じた表現の場及び音楽を身近に感じられる場を創出 参加11団体 650人 509千円	600千円(270千円)

②お茶のある幸せの風景の創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」	
第1節 シビックプライドの醸成	
施策②お茶のある幸せの風景の創出	
プロジェクト1.お茶に親しむ機会の創出	94 ページ
プロジェクト2.茶文化の発信	95～96 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 八幡産てん茶普及啓発事業	⇒ 継続実施
松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施 茶席体験参加人数 80人 お茶学習は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 801千円(295千円)	1,150千円(275千円)
○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業	⇒ 事業終了
お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出等を実施 委員会、WG・担当者会議・R4計画会議開催、お茶の京都茶会、子ども交流事業実施等 負担金支出 1,092千円(546千円)	
○ お茶の京都DMO分担金支出	⇒ 分担金支出
6,566千円(2,406千円)	6,570千円(2,405千円)
	○ 【新規】新・空中茶室プロジェクト推進事業
	石清水八幡宮や門前町の魅力向上のため、「新・空中茶室」の創造に向けた基本構想を策定 2,200千円(1,050千円)

(2) 幸せと出逢う観光まちづくり

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
商品開発数	1件	1件(累計)	1件(累計)	2	○
プロモーション(商談会)参加件数	5件	3件	4件	8件	△
観光意欲度(全国順位)	375位	450位	396位	200位以上	△

(事業進捗状況)

①「観幸のまちやわた」のブランド構築

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

施策①「観幸のまち やわた」のブランド構築

プロジェクト1.ブランドの構築

101 ページ

プロジェクト2.プロモーションの推進

102～103 ページ

プロジェクト3.観光まちづくりを進める体制づくり

104 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 観光協会活動助成 (秋の文化財一斉公開)	⇒ 継続実施
本市の歴史・文化の魅力発信に向け、市内社寺等との連携により、特別拝観や文化財特別公開等を実施 592千円(295千円)	600千円(290千円)
○ お茶の京都DMO分担金支出	⇒ 分担金支出
6,566千円(2,406千円)	6,570千円(2,405千円)
○ やわたブランド創造事業	⇒ 継続実施
商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発・PR 「ヤワタカラ」第2回、第3回認定 14品目認定(総数31品目) 1,106千円(470千円)	「ヤワタカラ」認定、SNS・雑誌広告掲載、プロモーションイベント開催・出展、WGによる特産品磨き上げ 1,904千円(1,243千円)
○ 徒然草エッセイ大賞	⇒ 継続実施
徒然草の52段に因み、優れたエッセイを全国に募り、本市の文化芸術に接し、交流する機会を創出 応募点数 2,698点 11,200千円(4,225千円)	12,000千円(4,200千円)
	○ 【新規】男山魅力探求発信事業
	大阪・関西万博を見据え、男山の自然体験や坊跡の歴史を題材としたモニターツアーを開催し、必要な散策路等の環境整備の調査を実施 2,900千円(1,450千円)

【再掲】

【再掲】

【再掲】

②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」			
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり			
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進			
プロジェクト1.石清水八幡宮を活かした交流拠点づくり	105		ページ
プロジェクト3.おもてなし環境の整備	108		ページ
第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」			
第2節 活力の基盤整備			
施策②人・物の流れをつくる基盤の整備			
プロジェクト1.新名神高速道路(八幡京田辺～高槻間)の整備促進	125		ページ
プロジェクト2.市内幹線道路の整備	126～127		ページ
プロジェクト3.交流拠点の整備	128		ページ
プロジェクト4.持続可能な公共交通の構築	129	ページ	

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額	
○ お茶の京都DMO分担金支出 6,566千円(2,406千円)	⇒ 分担金支出 6,570千円(2,405千円)	【再掲】
	○ 【新規】新・空中茶室プロジェクト推進事業 石清水八幡宮や門前町の魅力向上のため、「新・空中茶室」の創造に向けた基本構想を策定 2,200千円(1,050千円)	【再掲】
	○ 【新規】男山魅力探求発信事業 大阪・関西万博を見据え、男山の自然体験や坊跡の歴史を題材としたモニターツアーを開催し、必要な散策路等の環境整備の調査を実施 2,900千円(1,450千円)	

③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト2.茶文化の発信	95～96	ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト1.自然と触れ合うきっかけづくり	98	ページ
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進		
プロジェクト2.資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進	106～107	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績	令和5年度取組内容	
実績・事業費※()内は交付金充当額	実績・事業費※()内は交付金申請額	
○ 八幡産てん茶普及啓発事業	⇒ 継続実施	【再掲】
松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施 茶席体験参加人数 80人 お茶学習は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 801千円(295千円)	1,150千円(275千円)	
○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業	⇒ 事業終了	
お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出等を実施 委員会、WG・担当者会議・R4計画会議開催、お茶の京都茶会、子ども交流事業実施等 負担金支出 1,092千円(546千円)		

4 みんなで創る多機能な力を有したまちの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」

<総括>

(1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

①環境と調和したしごとの創出

八幡市都市計画マスタープランに基づき、京都府や関係機関との連携の下、周辺の土地利用との調和を図った都市的土地利用を市街化調整区域において進めている。一方で、市街化区域内の農地を保全するため、新たに制度化された特定生産緑地について生産緑地地区の所有者への周知及び指定意向の確認を行い、令和4年12月に指定を行った。

また、市域就職面接会を伏見ハローワークと共同で開催し、個別就職相談会を京都ジョブパーク及び地域若者サポートステーションと連携し実施するなど、地域の雇用創出に取り組んだ。

②男山地域の再生

男山地域において、地域住民が気軽に集える交流拠点「だんだんテラス」にコーディネーターを配置し、運営を支援した。また、令和4年度は市内の廃校を活用した防災イベントの実施や京都府立八幡支援学校普通科および福祉総合科の生徒との連携した授業を実施した。

③自然と調和したまちの魅力の創出

「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方を活かし、市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現や循環型社会形成のための取組を推進するため、第3次八幡市環境基本計画に基づく取組を進めている。就学前環境教育推進事業では、パートナーシップ団体の八幡市環境市民ネットと連携し、市内公立保育園・幼稚園等の就学前児童を対象とした大型紙芝居や環境クイズを使った環境教育を実施した。

また、みどりのつどい(グリーンカーテン苗配付会)、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に実施できていなかったスマート・エコ祭、新規事業として市主催の自然観察会等を実施し、「自然と触れ合う機会の創出」により、豊かな自然を守り育てる機運の醸成に取り組んだ。

都市・農村のふれあいの推進に向けては、八幡農業ボランティアの会の主催による農産物収穫体験や、市民農園の利用を通じた自然に触れ合う機会の創出等に取り組んだ。また、昨年度に引き続き、土地や樹木所有者等との間で“みどり”の保全についての協定「みどりの約束」を締結し、みどりの保護を行い、男山散策路等を通じて市民が自然と触れ合える機会の増加に寄与した。

④やわたへの愛着と誇りの醸成

新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、生涯学習センター講座、公民館・コミュニティセンター講座等の開設や、市民図書館の運営、松花堂庭園・美術館、文化センターの運営及び各種自主事業等を通じ、幅広い年齢層が歴史や文化芸術に触れる機会を創出した。また、市民が地域の歴史・伝統・文化を大切にして暮らし、本市を誇りに感じる心「シビックプライド」を高められるよう、ふるさと学習館への来館促進を図り、文化財講座や小学生の社会科見学を通じ、地域の文化財の情報発信に努めた。

(2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

市内自治組織48団体と市政推進に関する協定を締結し、活動や拠点整備に対する助成などコミュニティ活動の支援を実施した。また、絆ネット地域懇談会を開催し、地域で活動する多様な団体と専門機関や専門職が地域の現状と課題を共有する機会づくりを行った。さらに、『わたしたちの談活』プロジェクトにおいて、自治会の第五区と京都八幡高校ボランティア部が協働し、住民交流イベントを開催するなど、コミュニティ活動の活性化に寄与する取組を行った。

②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

近年増加している外国人住民との多文化共生に向けた取組の一環として、外国人住民の日本語学習を支援する観点から、日本語指導ボランティアスキルアップ講座を実施したほか、外国人受入企業等の関係機関と連携して、生活ルール、ごみの捨て方、防災情報、交通ルール等を説明する生活オリエンテーションを実施した。また、地域住民と外国人住民との交流に向けては、関西大学外国語学部高橋秀彰研究室によるベトナムの言語や文化を紹介するイベント「シンチャオ八幡」や、同研究室と介護支援事業を実施する市内NPO法人との合同イベント「男山ベトナム文化交流イベント」を開催した。

また、外国人児童生徒への対応では、日本語支援員を市内小中学校へ派遣することにより、日本語の指導を必要とする児童生徒に対して、指導の充実や支援体制の強化を図った。さらに、人権教育総合推進地域事業では、外国人の人権に関する「八幡市人権学習実践事例集」や外国人児童生徒に対する個別指導計画を作成するとともに、人権学習の公開授業や講演会を開催した。

そのほか、誰もが互いに助け合いながら自分らしく活躍できる地域共生社会の実現に向け、絆ネットワーク構築支援事業や「わたしたちの談活」プロジェクトの実施による地域での共生の仕組み構築を進めた。また、男女共同参画社会の推進に向けた女性専門・一般相談等を継続的に実施するとともに、差別解消法の講習会や精神保健福祉を考えるつどい等の開催による障がいの理解を図るための取組、障がい者の活動の場や早期療育の機会創出、一般就労に向けた就労訓練及び一般就労後の支援、障害者団体の支援等に取り組んだ。

(3)やわたEDISONチャレンジ！

①八幡発の創業の推進

創業支援員の配置によるワンストップ窓口の設置・運営や融資保証料・利子の補給を継続的に実施するとともに、商工業活性化補助金(やわたで始めよう応援事業)を創設し、起業の促進を図った。しかし、平成28年度の創業支援等事業計画策定後、相談件数は増加傾向であるが、相談のみで起業に至らないケースもあり、創業の機運醸成に向けた具体的な支援について検討が必要となっている。

②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

経営規模拡大に向けた活動支援や生産・出荷効率化のための農機具等の購入に対する助成を実施するとともに、スマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成することで、担い手の作業性・生産効率向上を図ることができた。また、農家の経営安定化等を図るため、農業委員会と協力して農地の利用集積を推進した。

③まちづくりの担い手の育成

市民活動団体の共有スペース及び情報発信拠点として運営している市民協働活動センターについては、令和4年度もコロナ禍が続く中、利用制限を行いながら継続して団体が活動できるよう支援を実施した。

市民協働活動事業助成では、京都府地域交響プロジェクト交付金の採択を受けた団体に対し、事業費の自己負担分の一部を助成しており、令和4年度は8団体に対して助成した。

生涯学習の推進では、市民の学習機会の拡充やリカレント教育の促進を図るため、様々な講師を招き、生涯学習の充実に取り組んだほか、NPOの設立支援等に取り組んだ。また、生涯学習人材バンクについては、登録者数は伸びており、令和4年度では105人の登録があるが、利用件数は0件が続いており、周知拡大に努めるとともに、ニーズの掘り起こしやマッチングを実施していく必要がある。

<基本目標の達成状況>

基本目標	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
転出入者数	▲215人	▲73人	9人	0人以上	◎
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	7団体	6団体	◎
まちの魅力度(全国順位)	381位	384位	469位	200位以上	△
創業支援の相談者のうち創業に至った件数	1件	10件	5件	4件	◎
認定農業者数	73人	65人	65人	78人	△
八幡市ボランティア連絡協議会登録団体の所属人数	285人	307人	272人	310人	△

<各施策の具体的事業の進捗状況>

: デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用した
: 上記以外の事業

(1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
松花堂庭園茶室利用者数	823人	732人	2,243人	3,000人	○
収穫体験参加者数	171人	230人	270人	310人	○
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合	49.9%(H28)	53.0%	53.0%(R3) (R9取得予定)	55.0%(R3)	○
リカレント教育推進講座の受講者数	545人	407人	527人	650人	△
市域就職面接会で就業に至った人数	4人	中止	3人	6人	△
居留意欲度(全国順位)	259位	224位	292位	150位以上	△

(事業進捗状況)

①環境と調和したしごとの創出

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第1節 活力の担い手育成		
施策①商工業の振興		
プロジェクト1.商工業の振興	112～113	ページ
プロジェクト3.就業支援	115	ページ
第2節 活力の基盤整備		
施策①企業立地の推進		
プロジェクト1.企業の進出可能な土地の確保	121～122	ページ
プロジェクト2.農地の保全	123	ページ
プロジェクト3.企業誘致の推進	124	ページ
第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」		
第1節 環境と発展の調和		
施策①環境にやさしい暮らしの創出		
プロジェクト1.脱炭素社会に向けた取組	137～138	ページ
プロジェクト2.人と自然との共生	139	ページ
プロジェクト3.安心して快適に住み続けられる、美しい八幡づくり	140	ページ
施策②資源の循環利用		
プロジェクト1.ごみの減量と再使用(2R)の推進	142	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績	令和5年度取組内容
実績・事業費※()内は交付金充当額	実績・事業費※()内は交付金申請額
○ やわたブランド創造事業	⇒ 継続実施
商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発・PR 「ヤワタカラ」第2回、第3回認定 14品目認定(総数31品目) 1,106千円(470千円)	「ヤワタカラ」認定、SNS・雑誌広告掲載、プロモーションイベント開催・出展、WGによる特産品磨き上げ 1,904千円(1,243千円)

【再掲】

②男山地域の再生

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」		
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり		
施策①生活都市としての魅力の向上		
プロジェクト2.男山地域の再生		
		158～159 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和5年度取組内容 実績・事業費※()内は交付金申請額	
○ だんだんテラス運営支援	⇒ 継続実施	
地域コミュニティ拠点施設「だんだんテラス」の運営支援及び活動費助成 162千円(71千円)	800千円(400千円)	
○ 地域コーディネーター配置	⇒ 継続実施	
大学と連携し、だんだんテラスに地域コーディネーターを配置 3,000千円(1,350千円)	3,000千円(1,215千円)	
○ 子育て支援事業助成	⇒ 継続実施	【再掲】
男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成 「おひさまテラス」利用児童 891人 (府)子育てにやさしいまちづくり事業交付金を活用 1,546千円	1,547千円(605千円)	

③自然と調和したまちの魅力の創出

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」			
第1節 シビックプライドの醸成			
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い			
プロジェクト2.自然景観の保全			99
第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」			
第1節 活力の担い手育成			
施策②農業の振興			
プロジェクト3.地産地消の推進			120
第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」			
第1節 環境と発展の調和			
施策①環境にやさしい暮らしの創出			
プロジェクト1.脱炭素社会に向けた取組			137～138
プロジェクト3.安心で快適に住み続けられる、美しい八幡づくり		140	ページ
プロジェクト4.みんなで取り組む環境活動		141	ページ
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり			
施策①生活都市としての魅力の向上			
プロジェクト1.居住地としての八幡市の魅力発信			157

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→なし

④やわたへの愛着と誇りの醸成

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策②新たな担い手による地域づくり		
プロジェクト2.生涯学習の推進	28～29	ページ
第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充	89	ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進	90	ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用	91～93	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

(2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
日本語教室の在籍者数	35人	115人	90人	50人	◎
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	7団体	6団体	◎
就労系サービス利用者及び一般就労移行者の数(延べ人数)	1,947人	2,420人	2,466人	2,500人(R4)	○

(事業進捗状況)

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進		
プロジェクト1.地域コミュニティ活動の充実	23	ページ
プロジェクト2.地域コミュニティ活動の基盤整備	24	ページ
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり	25	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策①人権・平和の尊重		
プロジェクト4.外国人との共生社会の構築	9	ページ
施策②男女共同参画の推進		
プロジェクト1.男女の人権の保護	10	ページ
プロジェクト2.男女共同参画の推進	11	ページ
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進		
プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実	16～17	ページ
プロジェクト3.障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり	18～19	ページ
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実	20	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→ なし

(3) やわたEDISONチャレンジ！

(KPIの達成状況)

KPI	計画当初値(H30)	R3実績	R4実績	目標値(R6)	達成状況
創業相談件数	28件	49件	10件	40件	△
担い手農家の農地利用集積面積	121ha	130ha	130ha	130ha	◎
市民協働活動センター利用人数	2,029人	771人	1,236人	2,200人	△

(事業進捗状況)

①八幡発の創業の推進

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」	
第1節 活力の担い手育成	
施策①商工業の振興	
プロジェクト2.八幡発の創業の推進	
	114 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→なし

②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」	
第1節 活力の担い手育成	
施策②農業の振興	
プロジェクト1.担い手の育成・強化	
プロジェクト2.生産基盤等の強化	
	117 ページ
	118～119 ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

→なし

③まちづくりの担い手の育成

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第6次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。
但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策②新たな担い手による地域づくり		
プロジェクト1.地域づくりの担い手(NPO・ボランティア等)の育成・拡充	27	
プロジェクト2.生涯学習の推進	28～29	ページ

【うちデジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】

令和4年度実績	令和5年度取組内容
実績・事業費※()内は交付金充当額	実績・事業費※()内は交付金申請額
○ 創造的事業創出に向けた民間主導での議論の場の創出支援	⇒ 実施
やわたブランド創出事業において創出した産品も含めた、民間主導による社会実証の場創出支援 実績なし 0千円(0千円)	175千円(65千円)